

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第52号

令和6年(2024年)
1月1日 発行



歓喜の御堂筋 優勝パレード（大阪市中心区）

昨年プロ野球で三十八年ぶりに日本一に輝いた阪神タイガース。アレにむけ、苦戦した時期もあったはず。しかし岡田監督は「ターニングポイントがなかったシーズンだった」とコメントされました。

このターニングポイントという言葉聞いたとき、自分自身の人生においてはどうかだったのかと考えさせられました。

学生時代から社会人を経て、お寺に戻り十七年経ちました。年齢も五十歳を超え必死に生きてきたつもりですが、人生を振り返ると「あの時にもう少しがんばれば、あんな失敗しなかったのでは」などと考えてしまうこともありました。

自分の人生をやり直すことはできませんが、見直すことはできます。岡田監督のコメントから、うまくいったことも、失敗したことも、すべてが今の私を成り立たせている縁であり、育てていただいた大切な出あいだったのだと知らされました。

（寿栄松正顕）



と う ひ が ん 到 彼 岸



老いの功德

光福寺 たまで そうじゆん 玉出 宗順

一切皆苦 いっさいがいく

私たちは人生そのものが自分の思い通りになってほしいと願います。しかしお釈迦さまは「一切皆苦」とおっしゃいました。つまりすべてのことは思い通りにならないということです。

私が実感した「老い」もその一つであり、とても厳しい現実を突きつける教えだと思えます。しかし、それだけではありません。

大切なよびかけ

大谷派僧侶の和田稠師しげしは耳が遠くなり、周りの人の会話が聞き取れず、なぜみんなが笑っているのか分からなかったそうです。

今まで歳を重ねると人間が丸くなって、思い通りにならないことも受け入れられると思っていたが、会話が聞かれないことで自分一人だけ取り残され

た気持ちになったり、こんなにもイライラした気持ちになったりするのかと初めて知り、面白いと感じたそうです。そして毎日、新しい経験をさせてもらっている。そのことを「老いの功德」とおっしゃいました。

今までできていたことができなくなると虚しく感じることもあるでしょう。でもそのようになったからこそ、老いることは虚しいだけではないと気づける世界があるのだと示してくださいました。

そして老いだけではなく、生きていく上でも思い通りにならない出来事を通して我が身を照らし、今の自分があることが当たり前ではないということに気づけるのだと「老いの功德」という言葉に教えられました。



最近、体重が著しく増えてきたのでスポーツジムに通い始め、ランニングマシーンをしましたが、十分すらもちません。
元々身体を動かすことは好きでしたし、体重が増えても十分間走るぐらいはできると思っていました。しかし五十代になって元気なつもりでも私の身体は確実に十代、二十代とは違うのだということを実感しました。

如にょ是ぜ我が聞もん

諸仏に生かされて

中国教区 阿弥陀寺 大谷おおたに義文ぎぶん師



令和五年十月二十七日、大阪別院で報恩講が厳修されました。

の願いのことです。

この私は、自分の都合を中心として、自分の思いが通れば喜び、通らなければ不満と怒りを抱きながら苦悩し続ける悲しい存在です。

を通して、人間は非常時には、冷静な判断ができなくなるということを痛感させられます。

複演の大谷義文師は、真覚ご門主が御親教に引かれたご和讃「諸仏の護念証誠は 悲願成就のゆえなれば 金剛心をえんひとは 弥陀の大恩報ずべし」のお味わいをご法話くださいました。

そのような生き方をしている私の姿に気づかせることこそが「悲願成就」なのです。

大谷師の住む熊本県益城町は、平成二十八年四月の熊本地震の震源地となりました。

地震発生直後に流れた「地震の影響でライオンが町に逃げ出した」という情報。目の前の倒壊した建物と、近所のよく知った老朽化した動物園のオリを重ね合わせ、そのデマを信じ込んでしまったそうです。

自分の知識や経験だけを元に

にして、目の前の状況を判断している人間の危うさを思い知らされたとのことでした。

悲願成就

仏教は、仏に成る教えです。

そして「悲願」とは、私を仏に成らせたいという阿弥陀仏

の節目の年です。あの時、デマによって多くの朝鮮人が虐殺されたという痛ましい事件

自分の知識や経験だけを元に

「諸仏」、すなわち仏に成られた先人たちは、自己中心の悲しい生き方をしている私に、その悲しみに気づいてくれと、念仏の声となって喚びかけ護ってくださいっている、それを親鸞聖人は「救い」といいたされたということでした。

お聴聞を通して、縁次第で何をしでかすか分からない私であり、だからこそ諸仏に護られ、生かされているのだと知らされました。

また、そのことを今度は私が伝えていくために、私が「仏に成る」のであるということも教えていただきました。

(門川崇志 記)

大阪探検

大阪池田 カップヌードルミュージアム



ワイワイしながらマイカップ作り



もう一度食べたいあの一杯はどこ？

インスタントラーメンの生みの親である安藤百福ももふくは、大阪府池田市の自宅裏庭に建てた小さな小屋でお湯を入れるだけで作れるラーメンの開発を約1年間、一人で研究していました。研究の末、1958年にインスタントラーメン1作目となる「チキンラーメン」が販売開始されました。

インスタントラーメンを世界に売り出し、アメリカ視察の際、スーパーの担当者が「チキンラーメン」を小さく割り、カップにお湯を注ぎ、フォークで食べる姿を見た時、世界に販路を広めるには、食文化の壁を越えることが必要だと考えました。日本に戻り、カップに入った麺にお湯を注ぎ、フォークで食べられるインスタ

ントラーメンとして、1971年「カップヌードル」が販売され、販売から50年後の2021年には、累計販売数500億食を達成しました。

総数800種類以上

ミュージアムに入っすぐ、「インスタントラーメントンネル」の入り口があり、今まで販売した歴代のインスタントラーメンのパッケージを眺めながら、自分が一番食べたであろう懐かしいのラーメン探しを楽しめます。

世界にひとつだけのカップヌードル

1個500円のカップを購入し、カップを自分の好みにマジックでデコレーションし、世界にひとつだけのマイカップを作成します。自身は4種類のスープの中から1つ選び、トッピングは12種類の中から4つ選びます。味の組み合わせは、なんと5460通り。とても全部は試せませんが、市販品にはない美味しさを追求しながら、自分好みのオリジナルの一杯を目指してみたいかがでしょうか。

詳細は下記QRコードよ

(中井翔隆)



お店を訪ねて

株式会社 吉澤石材工業所（堺市北区）

吉澤石材工業所は1970年、吉澤準一氏によって創業されました。今回は、1989年、準一氏逝去後に社長に就任された、長男の逸人氏にお話を伺いました。

本社前にはたくさん墓石見本が並んでいます。創業当初は、建築石材の仕事が中心で、技術力が評判となり、墓石の仕事も次第に増えていったそうです。しかし、建築業界に不況が訪れ、いつの間にか墓石部門が主な仕事となっていったとのことでした。

誇る技術

誇る技術、得意分野についてお聞きしたところ、「建築石材の技術を生かし、傾きづらく、くるいのない施工技術で設計ならびに作業をすすめていることです」と力強くおっしゃっていました。

そして「最近では、霊園の管理や



本社前にて、社長の吉澤逸人氏

供養塔（合葬式墓）の施工まで幅広くご提案しています。一般の石材店ではなかなかできない、霊園内の地図の作成、管理料の請求書発行、使用者の管理、お参りしやすい霊園のご提案などですが、他にも当社でできることがないかと模索中です」と。また墓石の製作や販売にあたって大切にしていることは、「従来の『和型の墓石』を好まれる方もいらっし

やいますが、最近では『デザイン墓』のご依頼も多く、どちらであっても『施主様の想いを像に還るお手伝い』ができればと施主様のお気持ちに寄りそってお話しさせていただいていることです」とおっしゃいました。

仕事ひと筋

若いころは、スキー、ダイビング、ジェットスキーなどをされていた逸人氏ですが、社長となってからは多忙で仕事ひと筋。地元でも丁寧な打合せが評判です。「施主様にお心を開いていただけるよう、日々精進しています」と先を見据えた輝いた眼でお話しくれました。

（隅谷俊紀）

■株式会社吉澤石材工業所

〒591-8011

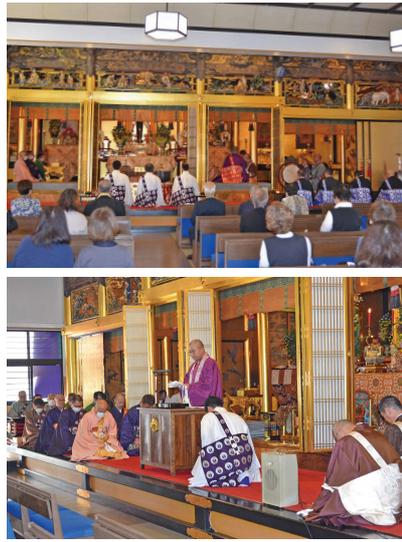
堺市北区南花田町190

電話 072-251-8186

Fax 072-251-0113

大悲トピックス

■大阪別院報恩講



①お勤め ②御親教

10月27日、真覚門主御親修のもと報恩講が厳修されました。今年もお稚児さんの草鞋直しがあり、華やかで和やかな法要となりました。お勤めに続いてご門主より御親教（おことば）を賜り、大谷義文布教使の法話を聴聞しました。

引き続き、大阪教区寺院5名のご門徒が、ご門主から帰敬式を受けられました。

また、大阪教区物故者追弔会では、教区寺院の方々もお参りくださり、先達がつくってくださったお念仏のご縁を分かち合いました。（大阪別院輪番 葦名彰）

■佛青懇和会研修会「御伝文拝読」

10月5日、大阪別院で佛青研修会が開催され、高照寺・隅谷俊紀師に御伝文の拝読の作法について講義していただきました。

これまでハードルが高かった御伝文の拝読について、要点を分かりやすく教えていただきました。（佛青懇和会会長 門川崇志）

■懇志御礼

三重県いなべ市 東光寺様
新潟市南区 梵行寺様

■お悔やみ

謹んで哀悼の意を表します。

第五組・稱光寺

恩智勇様（10月28日寂）

第六組・誓源寺

旭和子様（11月2日寂）

■お詫びと訂正

第51号「ごえんさんを訪ねて」の「渚暁」様の読みを間違えました。正しくは「なぎささとし」様です。お詫びし訂正いたします。

創業100余年・お墓の専門店

石留石材株式会社

土日祝もご相談いただけます（8時～17時）

0120-53-5578

■本社：大阪府藤井寺市津堂2丁目9番29号

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055

（〒600-8344）京都市下京区花屋町通油小路東入

電話（075）371-0367（代）

FAX（075）371-5088

お墓なんでも相談センター

永遠の想いを像に還るお手伝い

ヨシザワ

株式会社吉澤石材工業所

フリーダイヤル **0120-49-1482**

表具 **八木米寿堂**

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽（尺八・箏）出張演奏いたします。

曲目はリクエストできます。

事務局：阪南市新町 宝林寺

電話 072-472-1414

<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

浜屋は関西最大級のお仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お問い合わせお申し込みは

0120-1616-94

●受付時間／午前10時～午後6時30分

だいひ 絵日記

- 10月 5日 (木) 佛青懇和会研修会 (御伝文拝読、講師：隅谷 俊紀 師) ①
10月 12日 (木) 大悲の会編集会議 (第52号読み合わせ)
10月 20日 (金) 佛青懇和会研修会 (仏具おみがき) ②
10月 27日 (金) 大阪別院報恩講
11月 2日 (木) 大悲の会編集会議 (第52号読み合わせ)
11月 17日 (金) 大悲の会編集会議 (第52号読み合わせ)
12月 12日 (火) さつき会研修会 (仏教讃歌ニフレル、講師：門川 絢子 師) ③
12月 12日 (火) 佛青懇和会研修会
(自坊の法座をリモート配信する方法、講師：寿栄松 正顕 師) ④
12月 22日 (金) 大悲の会編集会議 (第52号発送作業・第53号内容検討)



協 賛

佛青懇和会

大阪教区の青年会
(会長：門川崇志)

協 賛

さつき会

大阪教区の坊守会
(会長：玉出みゆき)

協 賛

法友会

大阪教区の住職会
(会長：寺田宗隆)

■誌面広告の募集 (『大悲』発行は広告によって支えられています)

企業・団体・寺院の広告を誌面に掲載させていただきます。

1区画(55mm×40mm)、掲載1回につき5,000円です。

■定期購読の受付 (ご門徒の皆様方にもお渡しく下さい)

『大悲』の定期購読は、1部につき30円です(送料込)。10部単位でお願いいたします。

法要のご案内

大阪別院修正会

1月2日(火)正午

大阪別院彼岸会

3月17日(日)午後2時

法話:門川 崇志 師(浄方寺)

3月20日(水・祝)午後2時

法話:脇阪 義仁 師(霊松寺)

3月23日(土)午後2時

法話:葦名 彰 師(妙圓寺)

お寺の掲示板

「苦」が「苦」のまままで

終わらない

「悲」が「悲」のまままで

終わらない

それが仏教

編集秘話

一部のニュースが AI の音声で伝えられるようになっていますが、感情を感じられない音声はどうも馴染めません。同じ言葉を聞いても身を通した肉声は、伝える人の人間性によって言葉の意味に深みや温かみを感じさせます。文章でも普段の会話でも身を通した言葉を大切にしたいと思います。(葦名)

編集後記

昨年のプロ野球、関西ではタイガースとバッファローズがそれぞれ優勝し盛り上がりました。今号の「巻頭」もタイガースの話題から。それなら巻頭写真は優勝パレードをということで、編集者2名が撮影しに行きました。でも写真の写り具合から採用されたのはバッファローズのパレード……。お分かりでしたか？(編集長・隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第52号(冬号)
令和6年(2024年)1月1日発行(発行部数2200部)

発行:大悲の会

事務所:佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話06-6691-1362

郵便振替口座:口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

ホームページ(HP) <http://daihi.org/> (ご意見・ご感想はHP内の「お問い合わせフォーム」より)

大悲の会

長田 譲(会長)

隅谷 俊紀(副会長)

寿栄松 正頭(会計)

玉出 宗順(会計)

門川 崇志(監事)

佐々木 太一

葦名 彰

中井 翔隆